

コロナの外出自粛がはじまった頃、どんなサポートが必要だったかについて、過去1年のさざん利用者から200名を無作為に選んでハガキを送付、また、さざんに来所する予約利用者にもうかがいました。

○2020年8-9月 アンケート送付

○ハガキ有効回答 40名/200名送付（宛先不明 1名 無効回答 1名）

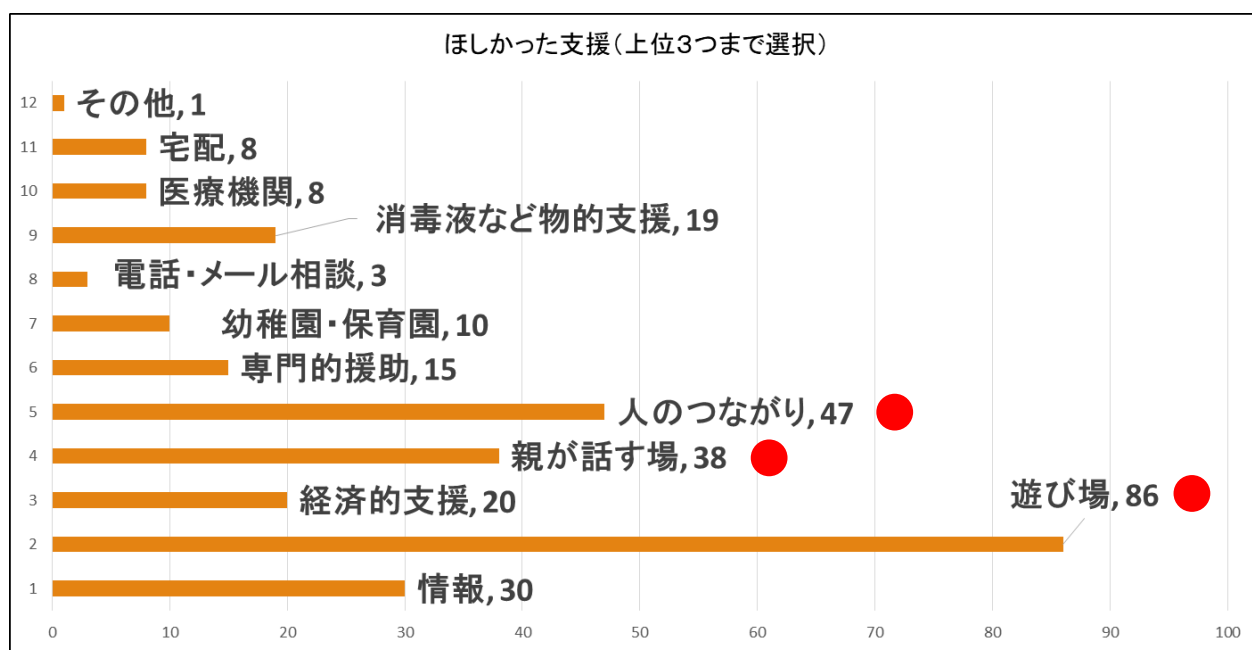
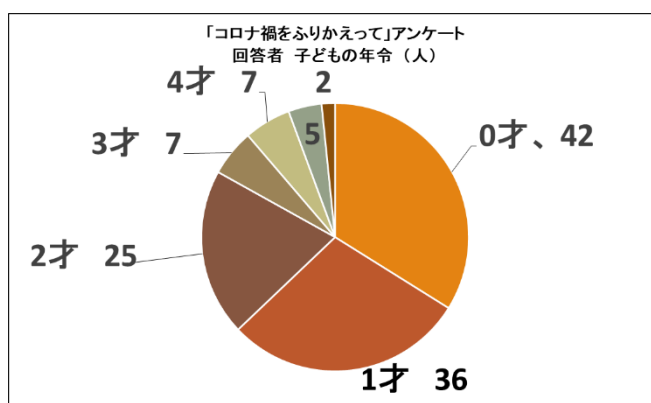
さざん予約利用の方 62名 計 102名 からの回答

○内容：ほしかったサポート(3択)と自由記述

問① 3-5月の緊急時、6月以降～現在、違う面もあるかもしれませんが、みなさんは、どういった支援・サポートが必要だ、と感じられたのでしょうか？

1. 上位3つを選択

- ① 情報 ② 子どもの遊び場や遊び
- ③ 経済的支援 ④ 親が話す場
- ⑤ 人のつながり
- ⑥ 保健師、保育士さんなどの専門的援助
- ⑦ 幼稚園・保育所等の支援 ⑧ 電話・メール相談
- ⑨ 消毒液などの物的支援
- ⑩ 医療機関のサポート ⑪ 宅配・家事サービス
- ⑫ その他



※さざん利用者、ハガキの方、それぞれでも、1～3位は同じ結果でした。

2. 自由記述(抜粋)

●遊び場

- * 3～5月の緊急時はまだ暑くなく、公園や散歩などで時間をつぶすことができたが、これが今の時期だと考えたら、室内の遊び場はほとんど休みだったので、どうなっていたか考えたら毎日の事なので、きついと思う。また緊急事態の中でも働きにいかないといけない両親もいると思うので、幼稚園や保育所以外でも、子どもを預かってくれるところを充実させてほしいと感じました。
- * ふらっとどこにでも、子どもを連れていける場があることのありがたみを感じています。👤
- * 時期的な事もあり、室内遊びできる所に連れていきたいと思っておりますが、色々な所が時間短縮だったり、人数制限があったり、不便な気がします。小さい子がマスクしなきゃいけないのもかわいそうですね。ソーシャルディスタンス気にするのも正直面倒くさいです👤
- * 自宅待機をなるべくしたいが、やはり親も子どももストレスを感じてしまう。ふれあいルームのように感染予防に気をつけて親と子の遊び場をもっとつづけてほしい。スーパーでの遊び場も現在閉鎖されているので、行き場がない。
- * コロナで自粛が必要ですが、子供はずっと家というわけにはいかず、いろいろ経験させてあげたいのですが、行く所もないというのが一番こまりました。さざん等が開所してくれて本当に救われました。
- * コロナでどこも遊ぶところがなくなると、子供の情緒が不安定になって幼稚園が再開した時はとてもうれしかったです。子どもにとって家にずっといることがこんなにストレスになるとは思いませんでした。
- * こうゆう所が利用ができてありがたいです。家にこもっていると人と話せないからです。特に土曜を開けてくれてたので、それがなかったのがとてもきつかったです。
- * 子どもの遊び場がなくなるのは大変困る。子どものストレス発散する場所(遊び場)は大切だと思います。
- * コロナがはじまったころよりかは少しおちついてきたが気をゆるめないようにしている。子どもが日々活発になるので、また遊び場がなくなると不安にもなる。

●人のつながり、親が話す場

- * コロナの流行前はさざんや児童館に遊びに行き、そこで親同士、子ども同士の関わりがありました。それが突然なくなったのがとても辛かったです(かなりのストレスでした)。
- * コロナ禍が約半年続いて、親子ふれあいルームのありがたさを日々感じています。子どもも親も人とのつながり、ふれあいが大事だなと思います。早くコロナが終息し、親子ふれあいセンターにいけることを願っています。
- * 今年の春から幼稚園に入園した長女がいます。母親である私もどんな楽しい毎日かと心待ちにしましたが、行事や親同士のつながりがなく少しさみしい気もしています。それでも感染予防策を徹底して受け入れてくださる先生方には、感謝の思いしかなく、毎日元気でいられることをありがたく感じています。さざんへは一度だけ下の子をいきました。変わらずスタッフの方々の温かさがあり、安心して過ごせる場だと感じています。ありがとうございます。
- * はじめての育児で1日中家で2人きりが続くと精神的にキツイと感じることがありました。廃材で作れるおもちゃなどを制作し、家の中で一緒に楽しく遊べるようにしたり、好きな音楽をかけて、だっこでゆらゆらしたり、少しでも気持ちが上向きように心がけていました。
- * どこかに出かけたくても、人ごみをさけないといけないので、子供も親もストレスがたまると思いますので、子供と親の集まれる場所が(交流)なかなか今の状況では難しいですがほしいですね。
- * いつもお世話になっております。自粛中ほぼ毎日子どもと2人きりで遊ばせるにしても、どうしようと悩むことが多かったのですが、過ぎてみれば2人で過ごせるかけがえのない時だったんだと思えます。その反面、自粛があげ、他の人とふれあうと、やはり、子育ては孤独ではつらすぎると思いました。友人にも連

絡をしないなど、ちょっとストイックに過ごしていたな、と思い、会わないでも、人とつながっているという感覚だけでも、孤独な子育てはすくわれるのではないかと思いました。私は子どもが笑顔で楽しそうだとうれしくなるので、やはり、いつまでも子どもの遊び、遊び場が少しでも多くなると嬉しいです。

* 親同士が気軽に話せる場がなくなった(減った)ことが一番辛かったです。公園等で偶然知人に会えて少し話せた時、とても気持ちが明るくなったので改めて今までの当たり前前に感謝しました。オンラインがもっと広がっていくといいな、と思います。

* 子供が遊べる場所がなくなり、家で過ごす事が増え、関わりが親とだけになったため、他者とのコミュニケーション不足がとても気になりました。

* 子どもの有り余る体力、親のストレス発散、色々な意味で集まれる場所が欲しかった。最近は何をしながらも行ける外出はしているが本当によいのかな、大丈夫かな、といつも思いながら、過ごしているので、思い切り楽しめない節がある。

* 引きこもりになって家族以外との関わりがなくなっていたので人とのつながりを求めています。

* 遊び場の大切さ、人とつながらないと子育てはできないと痛感しました。ただ、働き方も含めて家族のありかたを見直すきっかけにはなったと思います。

●不安

* まだコロナが続いている中で、どこまで自粛をしたらいいのか悩みが尽きません。子供のことを考えると、お友達とのふれあいも大切な時期に会えないとどうなるの?とかも不安になり、コロナが心配な中、しかたなくふれあえる場所に行っているのが現状です。はやくコロナが終息してほしいです。

* 緊急時から少し落ち着いてきた今も、いろいろと判断に迷うことが多いです。リアルで現実的な情報を手軽に得られると助かります。また、子ども1日中家にいるのは、お互いストレスがたまるので、やはり、少しでも家の外に出て遊ばせることのできる場はとても助かります(^▽^)/

* コロナ前までは子どもの遊び場やモール、サンリブシティでおかいものなど私も子供も気晴らしになる所がありましたが、今はコロナ感染も怖いので、出かけられなくなりました。自宅にいるか、実家につれていくか…。自宅にいると、近所から騒音がうるさいと言われたり…。行くところがなく困っています。

* 長期戦になっている With コロナ 身近のようで身近ではないような気がして、対策が消毒と手洗い、うがいくらいしかできないのが不安です。この先、どうなっていくのかとても不安です。

●相談

* 3月生まれの我が子。第1子で右も左もわからない中、新生児訪問も中止となり、とても不安でした。気軽に相談できる場もなくなり、電話相談はできましたが、上手く伝えられず。本当にほしい支援を受けられませんでした。それから、半年、予約制ですが、対面して相談できる、遊びにいける場が増えて、育児が楽しいと思えるようになりました。最初の数か月本当につらかったです。* 市民センターでの健康相談を毎日楽しみにしていたのに、それが出来なくなり、体重が増えているか不安でした。個別に相談できる環境をつくってほしいと思いました。

* 世の中がこういった状況になって、まず何をしたらいいか、何をどこまで信じたらいいか。感染者数の数字に一喜一憂する日々。自分はこんなに色々なことを我慢し、気をつけているのに…と他の家庭と比較し、本当は自分が気にしすぎなのか?自分が間違っているんじゃないか、と悩む毎日でした。今は自分の中で、少しずつ心の整理が出来てきていますが、当時、苦しかった時に相談できるような何かがあればよかったな…とも思います。

* 市民センターや色々な所で行われている育児相談会もすべて中止。せめて保健師さんの家庭訪問があれば、と思いました。離乳食、体重、色々相談したい事があっても、なかなか相談する所ばくググってばかりでした。

- * 歯みがきが苦手・トイレのスタート・体重の増加が不安・・・先輩ママさんや専門家の方に気軽に聞ける場が現在なくなっているのが悲しいです。病院にいつまで聞くことじゃない、でも、不安で聞きたいことがあるママは多いと思います。コロナが終息したら笑いながら、色々なママさん達と話せたらな、と思います。
- * 市民センターで行われている月1の体重、身長測定や育児相談が中止になっていたの、娘の成長がわからず、再開してほしいです。
- * 助産師訪問がなかったので、この方法でよいのか不安が大きかった。さざんが再開して色々な方と話せて、私自身のストレス発散になった。
- * コロナ禍でなくても、なかなか外出は難しく、子どもと常に1対1で孤独を感じる中、さらにプラスコロナだった為、わたしがツラかったです(泣)。初めての育児なので、ちょっとした悩みとか相談もできなかったのが困りました。
- * 産後すぐコロナが流行し、人との交流が少なく、育児の相談などができるママ友もできなかったのですが、さざんにくるようになり、大人の人(ママさん方)とお話する機会も増えたので、参加してよかったです。
- * 家の中で子どもと2人毎日何をしようか本当に悩みました・・・。又、いろんな教室も中止になり、離乳食や育児について相談したり、同世代の子を持つママや先輩ママのお話を聞ける場もなかったので、試行錯誤の日々でした・・・。なので、ふれあいの場やいつでも相談できる環境の大切さを本当に感じました！！

●情報

- * 自分で選択する、判断するっていう事がどんなに大切か、自分は何を大切にしたいか、行動したいかをより考えるようになりました。コロナの中でも出来る事、楽しめる事を考えて子育てしたいな、と思います。
- * 自粛生活が長く続きましたが、家にひきこもるのにも限界があります。テレビのように不安をあおるような情報だけにとらわれず、しっかりコロナ対策(マスクや消毒)をして支援センターや散歩に出かけるのは精神的にも大事だと思います。不安はありますがウイルスと共存していく必要があるのかな、と思います。
- * 毎日のようにテレビやネットで情報は流されるけど、それが正しい情報なのかギモンを感じることや、不安をあおるものもあるから、もっと生活に密着した情報や支援が必要だと思った。子供の遊べる場所がなく、家の中だけでは、母子ともにストレスになると感じた。

●その他

- * こんにちは。初めて書かせてもらいます。私は東京出身で今年は2回帰ろうと考えていましたが、コロナで2回とも断念。両親も心配ですが、子どもと家で2人きり、知り合いも少ないこの土地での育児に嫌気もあつた部分もありましたが、みんな同じ状況で頑張っていると思いながら、今も奮起しています。
- * さざんスタッフの皆さまこんにちは(^ ▽ ^) コロナ禍まだまだ続きますが・・・というか With コロナなので今後は“今”の状況が“普通”になっていくのでしょうか？誰にもわかりませんね。娘は6月で1歳、この世に生まれてきてくれて初めての誕生日を迎えました。本来は無事に1歳を迎えられたこと、たくさんの人、周囲の環境のおかげで元気にスクスク育っていることを感謝すべく盛大にお祝いしたかったのに叶わず・・・コロナめ！乳幼児期の子たちの“今”は“今”しか感じられない。多感な今だからこそ経験させてあげたいことがたくさんあるし、それを実現させたいことがたくさんあるし、それを実現させるためにも、やはり人とのつながりが必要不可欠だと思います。予約制でも、さざんが開いてくれていることでたくさん救われているな、と思えます。これからも是非！よろしくお願いします！！

アンケートへのご協力、ありがとうございました！！

さざんでは、「ブログ OK」の方の声を、順次ブログにもあげています。皆さんの声をしっかりと受けとめ、心をこめて、小倉南区親子ふれあいルーム‘さざん’を運営していきます。